

研究

建築設計・デザイン

建築設計、建築デザインを専門とし、建築家としてこれまでに、住宅、集合住宅、医療施設、商業施設、公共施設など約 **100 件** を手掛けました。

「実践と教育のフィールドを横断しながら、実社会で活躍できる人材の育成に努めていきたいと思っています」と話します。



津屋崎海岸のスタジオハウス (福岡)



あいレディースクリニック (沖縄)



恵比寿の住宅 (東京)



注目の授業

「建築造形演習」

建築に対して興味関心が高い早期から、手を動かしてモノをつくる楽しさを知って欲しいと、今年度から開講した、1年生対象の科目。ダンボールでのイスづくりや、一枚の紙から建築模型をつくるなど、建築技術者に必要な造形の構成力と表現力を身につけます。



学生の作品です

趣味

旧車

小さな頃から車好きで、欧州や日本の古い車を大切に永く乗っています。

愛車のポルシェ



建築都市工学部



YAHAGI MASAO
矢作 昌生 教授

建築学科

師範

ABC 建築道場

建築に本気で向き合う道場として設立し、矢作先生が師範を務めています。毎週テーマに沿った作品を持ち寄り、プレゼンテーションで1位を決める「しゅうまい」や、著名建築家による講演会の企画、運営を通して**建築力と人間力を鍛える道場**です。

2016年には卒業設計日本一決定戦で「**日本二位**」になりました。

約50人が在籍



復興支援

熊本地震

みんなの家

日本財団の支援で、熊本市の仮設団地に、県内第一号の集会所を設計しました。

木造平屋約 30 m²で、畳部屋や縁側、キッチンを備えており、住民が集まって談笑できる憩いの場となっています。



学生主体で取り組みました

グッドデザイン賞を受賞

小さな積み木の家

東日本大震災

2011年11月、人々が集う「復興の拠点」を目指して、陸前高田市に、集会所を設計しました。

矢作先生が考案した「**積み木工法**」は、誰でも簡単に建設や解体が出来よう、間伐材を**ブロック状に加工して積み上げる技法**です。

ブロック約 340 個には、側面に番号が刻まれ上面には、被災者やボランティアの思いが記されています。



それぞれに番号が印字